

保護者による放課後等デイサービスに対する評価の集約

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答
①	子どもと保護者の希望や課題をふまえた上で、個別支援計画が作成されているか	100			
②	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	80	20		
③	放課後児童クラブなどとの交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	33	40	20	7
④	個別支援計画の内容、支援方法等について説明がなされたか	87	13		
⑤	日頃から子どもの様子を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	87	7	7	
⑥	保護者に対して面談や育児に関する助言などの支援が行われているか	73	20	7	
⑦	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	73	20	7	
⑧	個人情報に十分注意がなされているか	100			
⑨	定期的に通信やホームページなどで活動の様子や行事の予定などの情報が子どもや保護者に対して発信されているか	87	13		
⑩	子どもはハッピーD a y sに行くのを楽しみにしているか	100			
⑪	ハッピーD a y sの支援に満足しているか	87	13		

(回収率 71% : 数字は%)

概ね良好な評価を受けていると考えられます。

各項目について「どちらともいえない」という評価があるものの、多くの保護者から「はい」という評価を得ています。これからも十分に考慮して進めていくことが大切だと考えます。

また、子どもを中心に据えた情報交換や共通理解は、高評価を得ています。日常の様子を伝えることでお互いの理解が深まっていると考えます。

「子どもたちがハッピーD a y sに行くのが楽しみ」という言葉が、自然と出てくるように、これからも支援の充実を図るとともに、保護者の信頼に応えていく努力を引き続き

継続していきます。

一方、③の評価については、「どちらともいえない」「いいえ」の回答を合わせると回答者数の半数を超えており課題といえます。「障害者基本法」に示されている「共生社会」の実現のためには、障害のない子どもたちとの交流は欠かせないことから、積極的に進めている事業所などがあれば、その取り組みを参考にするなどして手立てを考える必要があります。また、少数ですが「どちらともいえない」や「いいえ」の回答が寄せられている内容については、どのような要因や課題があるのかを検討しなければなりません。